

陸と海と

～ウクライナ戦争の終結に寄せる～

2025年3月11-12日

エコノミスト、元(株)国際経済研究所取締役・理事 西谷公明

はじめに

～トランプ氏の現実主義について～

1. “はざまの国”

- ・西ウクライナ、非ロシア・反ロシアの歴史
- ・オレンジ革命（2004年12月）からマイダン政変（2014年2月）へ
- ・「中立」を撤回、NATO加盟を憲法に明記

2. プーチンがロシア国民の心をつかんだ日

- ・クリミア、ロシア愛国主義の象徴
- ・プーチン（有限の生、当時69歳）は、ウクライナ問題にケリをつけるべく侵攻を決意した？
- ・プーチンは、その日のために準備していた？

3. 勝敗はもう決している

- ・過去30年の名目GDPと経常収支の推移をみると・・・
- ・＜銃＞も＜パン＞も支援頼みの戦争
- ・ウクライナ、2022年GDP成長率－29%の意味

まとめ－世界史は陸の国に対する海の国の戦い、海の国に対する陸の国の戦いの歴史である－

- ・バイデン氏によるリベラリズムの戦い：権威主義 vs 民主主義 ➡ 終わらない戦争
- ・ヨーロッパは“はざまの国”を守れるか？ ➡ ウクライナ崩壊？ or 第三次世界大戦？

まず戦争をやめさせること、それに尽きる。

添付1) 時事通信社「新冷戦のリアルな本質」(2024年9月19日配信)

添付2) 同上「ウクライナ戦争、終わり方の難しさ」(2025年2月10日配信)

添付3) 週刊東洋経済「今週のもう一冊」(2023年4月15日号)

以上